

STI for SDGs

～国連STI forumとHLPFに参加して～

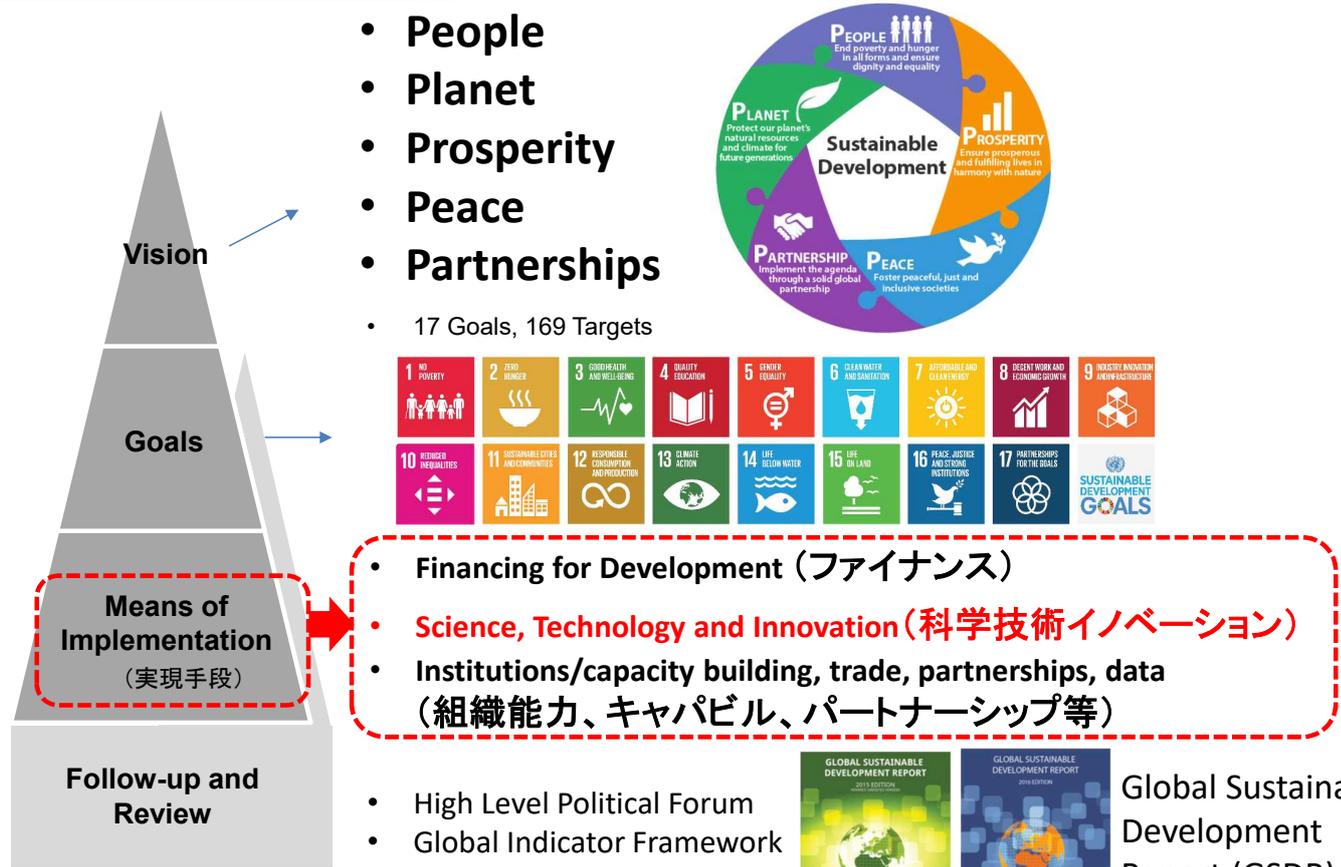
2018年9月7日

持続可能な社会推進室 今林文枝



Japan Science and Technology Agency

SDGsの横断的実現手段としての科学技術イノベーション



(金平氏(World Bank)作成資料に追記)



Global Sustainable Development Report (GSDR)

STI for SDGsに関する国連の体制



United Nations

General-Assembly (SDGs Summit in 2019)

Economic and Social Council

High-Level Political Forum (HLPF)

2018年
7月9日～18日

- **UN Conference on Trade and Development (UNCTAD): CSTD**
- UN Forum on Sustainability Standards (UNFSS)

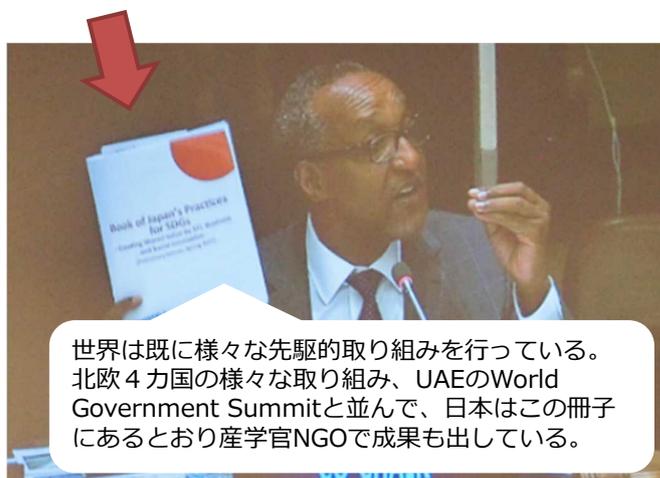
TFM (Technology Facilitation Mechanism)

- UN Inter-Agency Task Team on STI for SDGs(IATT) (UNESCO, World Bank, etc) ;
10-Member Group
- Online Platform
- **Multi-stakeholder Forum on STI for SDGs (STI forum)**

2018年
6月5日～6日

日本の取組事例の発信

- 日本企業、研究開発法人等からの情報提供を基に、17ゴールに対して47*の取組事例を紹介。(* 2017.5時点)
- 2017年国連STI forumにて国連日本代表部と世銀等が共催したサイドイベントにて配付。
- 2017年国連STI forumの共同議長に冒頭で紹介された。



世界は既に様々な先駆的取り組みを行っている。北欧4カ国の様々な取り組み、UAEのWorld Government Summitと並んで、日本はこの冊子にあるとおり産学官NGOで成果も出している。

Book of Japan's Practices for SDGs
- Creating Shared Value by STI, Business and Social Innovation -
(Preliminary Edition, Spring 2017)



- 2018年4月、中村道治JST顧問（前理事長）が国連IATT*の10人委員会のメンバーに任命。今後2年間、国連STIフォーラム等の活動に対して助言等を行う。

国連 Multi-stakeholder Forum on STI for SDGs in 2018

- 2018年6月5-6日 国連本部で開催。
- 国連機関・政府機関（閣僚級を含む）・研究機関・大学・若手起業家・市民団体等から総勢600名強が参加
- 共同議長：Dr. Toshiya Hoshino, Deputy Permanent Representative of Japan to the UN, and Mr. Juan Sandoval-Mendiola, Deputy Permanent Representative of Mexico to the UN



岸外務大臣科学技術顧問がSession 6の
パネリストとして登壇

- 目的：マルチステークホルダーが集まり、科学協力やイノベーション、人材育成などの取組事例を共有することで、開発・SDGs達成に向けて課題となる技術の壁とそのギャップを明確にしていくことを目指す。



- 議論の結果は、7月に開催のHigh Level Political Forum (HLPF) にて報告。

Japan Science and Technology Agency

STI FORUM
Science, Technology & Innovation for
the Sustainable Development Goals

5

国連ハイレベル政治フォーラム (HLPF) 2018 (1)

- 2030アジェンダの国際的なフォローアップとして最も重視されるフォーラム。国連経済社会理事会主催（閣僚級、毎年）
- 2018年7月9-18日 国連本部で開催。
- 国連機関・加盟国の閣僚等・民間企業・国連Major Groups・市民団体等から総勢2500名強が参加。250以上の公式サイドイベントが開催。
- 第1週目（9-13日）：5つのSDGsごとの進捗や課題等の議論、STI forumや途上国側の会議結果を報告。
- 第2週目（16-18日）：46カ国の閣僚より、国レベルの取組等（自発的国家レビュー）を発表。

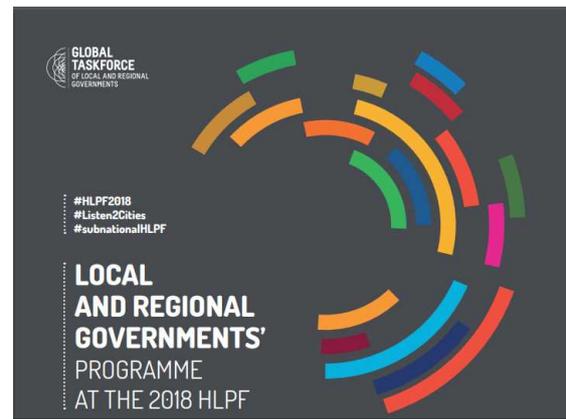


Japan Science and Technology Agency

©IISD Source: <http://enb.iisd.org/hlpf/2018/>

6

- 地域フォーラム：**
 都市や地域の取組の重要性を議論。SDGsの実施は都市や地域で行われている。国連や国のレビューだけでなく、都市や地方のレビューも反映すべき。
- ビジネスフォーラム：**
 中小企業やベンチャーを含む多くの企業が、SDGsの達成に向けて産学官による協働が不可欠。
- 高等教育の持続可能性に関するイニシアティブ：**
 学位主体からの脱却、生涯学習の推進等、高等教育の在り方を議論。



「拡大版SDGsアクションプラン2018」の概要

日本は、SDGsの推進を通じて、創業や雇用の創出を実現し、少子高齢化やグローバル化の中で実現できる「豊かで活力ある未来像」を、世界に先駆けて示していく。そのため、日本ならではの「SDGsモデル」を構築。

日本の「SDGsモデル」を特色付ける大きな柱として、次の三つを掲げた。

SDGsと連動する「Society 5.0」の推進

- SDGsが掲げる社会課題に対応すべく「Society 5.0」や、「生産性革命」を実現。
- 経団連「企業行動憲章」の改定を支持・後押し。

- 民間企業への支援策等を年末までに検討。
- ベンチャー企業支援を含む「SDGs経営推進イニシアティブ」
- SDGsのための科学技術イノベーションの推進等

SDGsを原動力とした地方創生，強靱で環境に優しい魅力的なまちづくり

- 各地方のニーズや強みを活かしながらSDGsを推進。
- 政府が一体となって、先進的モデルとなる自治体を支援しつつ、成功事例を普及展開。

- 「自治体SDGsモデル事業」を新規創設し、政府一体となった支援体制を構築。
- 東京リビッド・パーク開催準備や万博誘致を通じてSDGsの認知度向上と実施を推進。

SDGsの担い手として次世代・女性のエンパワーメント

- 国内では、「働き方改革」、「女性の活躍推進」、「人づくり革命」などを着実に実施。
- 国際協力では、「人間の安全保障」に基づき、保健、女性、教育、防災等への支援を推進

- 「次世代のSDGs推進プラットフォーム」の立ち上げを、年末までに準備
- 「ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）」の推進に向けて、今後約29億ドルを支援。

統合イノベーション戦略（概要）

- ▶ 世界で破壊的イノベーションが進出し、ゲームの構造が一変、過去の延長線上の政策では世界に勝てず
- ▶ 第5期基本計画（Plan）・総合戦略2017（Do）の取組を評価（Check）し、今後とるべき取組（Action）を提示
- ▶ 硬直的な経済社会構造から脱却、我が国の強みを生かしつつ、Society 5.0の実現に向けて「全体最適な経済社会構造」を柔軟かつ自律的に見出す社会を創造
- ▶ そのため「グローバル目標」「論理的道筋」「時間軸」を示し、基礎研究から社会実装・国際展開までを「一気通貫」で実行するべく「政策を統合」
- ▶ イノベーション関連の司令塔機能強化を図る観点から「統合イノベーション戦略推進会議」を2018年夏を目途に設置し、横断的かつ実質的な調整・推進機能を構築

SDGs達成のための 科学技術イノベーションの推進 (STI for SDGs)

- ▶ 国内ロードマップを2019年央までに策定（国内実行計画として活用、世界へ発信）
- ▶ 各国のロードマップ策定への支援
- ▶ 我が国の科学技術シーズと国内外のニーズを結びつけるプラットフォームの在り方の検討

- 世界の潮流・我が国の課題と強み -

我が国の課題解決モデルを世界へ

- ▶ 知の源泉から国際展開までの取組を通じた課題解決モデルの提示
- ▶ 国際標準化、オープン・アント・加ース戦略等を考慮した取組の推進

SDGs達成のための科学技術イノベーションの推進 (STI for SDGs)

- ▶ 国内ロードマップを2019年央までに策定（国内実行計画として活用、世界へ発信）
- ▶ 各国のロードマップ策定への支援
- ▶ 我が国の科学技術シーズと国内外のニーズを結びつけるプラットフォームの在り方の検討

Japan Scier

http://www8.cao.go.jp/cstp/tougosenryaku/tougo_gaiyo.pdf

9

国家開発計画・STI戦略とSTIロードマップ

国家開発計画 (NDPs)

“**STI 戦略**”
(NDPsに包含される)

STI 戦略に基づき
時間軸とリソースを考慮に入れて
STI ロードマップをつくる

STI ロードマップ

国連機関
WB, UNCTAD, UNESCO, WIPO, UNEP...

オンライン・プラットフォーム STIフォーラム等

フォーサイト、グローバル・インディケーター、統計・分析フレームワーク

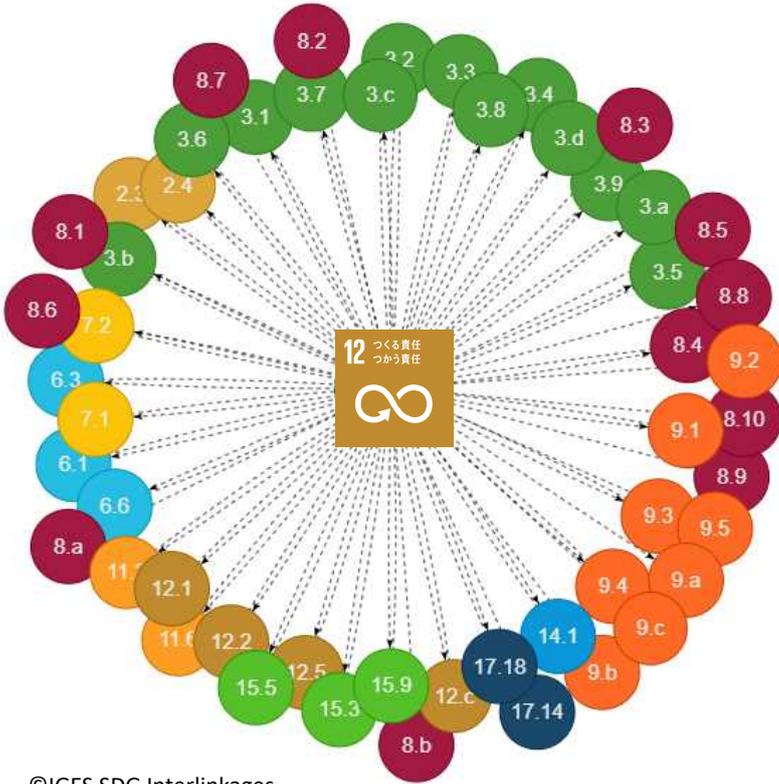
コ・デザイン, 共創
サイエンスコミュニティ
ビジネス
社会

Japan Science and Technology Agency

10

化学業界とSDGs (STI for SDGs視点)

化学業界の事業は、広範囲のSDGsに関連



©IGES SDG Interlinkages

- SDGsの相互作用(シナジーとトレードオフ)を考慮
- 政府・大学・研究機関・市民団体等、組織・業界を超えた連携強化
- 国内外にビジョンや活動を発信！

Japan Science and Technology Agency

11

**Think globally, act locally.
Let's work together!**



Japan Science and Technology Agency

12